

拠出金名:南太平洋経済交流支援センター拠出金

国際機関等名	南太平洋経済交流支援センター (英文名称・略称) South Pacific Economic Exchange Support Centre (SPEESC)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当課名	外務省アジア大洋州局大洋州課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成22年度	9,471			円建て	100
平成21年度	9,471			円建て	100
平成20年度	10,423			円建て	100
当該拠出金の目的・用途等	本センターが行う経済交流支援活動の事業経費として使用。				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (平成22年度決算)	
	国 名	金額 (千円)	拠出率 (%)	当該年度の収入 51,651,000円	
1位	日本	9,471	100.0	当該年度の支出 51,646,500円	
2位				次年度への繰越 4,500円	
3位				会計検査機関名	
4位				清和監査法人	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
本センターは、2009年に御茶の水にある明治大学の施設に移転し事務所の機能を高めたことにより、一般の来訪者にとって格段に利用しやすくなり、訪問者も大幅に増加してきている。また、公募により就任した新たな所長を迎え、民間の基金等も活用して太平洋島嶼国との間で大型の商談会や観光促進のための文化紹介行事を実施するとともに、企業関係者や学術関係者を中心とする「パシフィック・アイランダーズ・クラブ」を設立して懇親会を開催する等の事業を積極的に展開していることは評価に値する。					
邦人職員数 うち幹部以上	3人 うち 1人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	3人 100%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
所長		相馬 貫一郎			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
現所長については、2009年に公募を実施し、外部委託者による選考の結果、実務経験とともに島嶼国の事情にも詳しい邦人が任命された。その他の職員についても、本センターの業務を円滑に遂行するためには、日本語の能力に加え、日本での商習慣等の知識も必要となることから、邦人が務めている。					